平成30年度 地産地消推進状況報告

平成22年3月に邑南町における地産地消推進の基本的なルールを定めた「邑南町地産地消推進条例」を施行してから、9年が経過した。本報告は、邑南町地産地消推進条例第8条第2項の規定に基づいて、地産地消推進状況の平成30年度実績についてまとめたものである。

I 取り組みの成果

1. 重点推進項目

(1) 学校給食

①平成30年度実態調査

学校給食における町内産品の使用実態について、納入伝票のデータを基に実施

②金額ベース

単位：千円

品目	H30			H29		
	仕入金額	うち町内産	町内産使用率	仕入金額	うち町内産	町内産使用率
米	3,792	3,753	99.0%	3,626	3,598	99.2%
野菜・果樹	11,191	3,102	27.7%	11,808	3,234	27.4%
牛肉	1,952	1,941	99.4%	1,519	1,511	99.5%
豚肉	1,865	1,865	100.0%	1,847	1,806	97.8%
鶏肉	2,418	-	0.0%	2,621	-	0.0%
たまご	386	204	52.8%	314	156	49.7%
小計	21,604	10,865	50.3%	21,735	10,305	47.4%
牛乳・乳製品	8,977	-	0.0%	8,851	-	0.0%
冷凍・加工品	17,786	49	0.3%	18,193	42	0.2%
合計	48,367	10,914	22.6%	48,779	10,347	21.2%

※表中の記号… 0：単位未満、-：該当なし

平成30年度 地産地消推進状況報告

①重量ベース

単位：kg

品目	H30			H29		
	仕入重量	うち町内産	町内産使用率	仕入重量	うち町内産	町内産使用率
米	11,016	10,915	99.1%	10,954	10,808	98.7%
野菜・果樹	26,816	11,943	44.5%	27,119	11,423	42.1%
牛肉	367	361	98.4%	301	297	98.7%
豚肉	1,529	1,529	100.0%	1,472	1,440	97.8%
鶏肉	1,641	-	0.0%	2,082	-	0.0%
たまご	788	610	77.5%	622	464	74.6%
合計	42,156	25,357	60.2%	42,550	24,432	57.4%

※表中の記号… 0：単位未満、-：該当なし

②野菜・果物の納入割合

	H30			H29		
	農家・組合	産直市	商店	農家・組合	産直市	商店
金額(千円)	3,386	1,542	6,263	2,167	1,501	8,140
割合	30.3%	13.8%	56.0%	18.4%	12.7%	68.9%
重量(kg)	10,408	6,271	10,137	6,884	5,462	14,773
割合	38.8%	23.4%	37.8%	25.4%	20.1%	54.5%

※表中の記号… 0：単位未満、-：該当なし

② 学校給食の現状分析

- ・県の食材仕入れ状況等調査（調査対象期間：6月及び11月の第3週）の結果では、町の地場産物活用割合は49.2%であり、平成29年度の63.5%より下がった。

また、平成30年度島根県平均は54.3%で県平均を下回った。

(※地場産物活用割合は、食品数ベースで算出。)

- ・しかし、重量ベースでは町内産使用率は60.2%で、平成29年度の57.4%を上回る結果となっている。学校給食の食材を地元の野菜でできるだけ多く賄うよう、地産地消コーディネーターによる新規取引農家の開拓や取引農家との良好な関係性を保つことにより、前年度より多くの食材を仕入れることができた。
- ・平成30年度も農家が安定して野菜を生産し、給食メニューに必要な食材を安定的に仕入れることができた。

平成30年度 地産地消推進状況報告

(2) 木材利用

① 公共建築物での町産材利用

新築の公共建築物3施設のうち3施設において構造材等の一定割合について、県産材・町産材使用を指定し、建設した。

《平成30年度新築の公共施設の木材利用状況》

施設名	延床面積 (㎡)	木材使用量 (m ³)			備 考
		全 体	うち県産材	うち町産材	
地域優良賃貸住宅 (中組)	165.46	46.48	46.02	46.02	
地域優良賃貸住宅 (森実)	152.30	40.50	33.48	33.48	
矢上診療所	351.11	98.60	79.71	79.71	

② バイオマス活用に向けた木材利用

平成30年度も林地残材搬出支援実験事業を引き続き実施し、10名(個人)で239.59tを搬出した。

(3) 堆肥活用

① 循環型農業の確立を図るため町内産堆肥利用

平成30年度も飼料用稲作付圃場への堆肥散布により、地域で生産される牛糞堆肥を地域内の圃場へ還元した。飼料用稲作付面積は44ha、660tの堆肥を散布した。

平成30年度 地産地消推進状況報告

II 活動状況

1. 地産地消推進本部

(1) 地産地消推進本部(庁議)

開催日	内 容
12月3日	・地産地消推進に関する状況の取りまとめ及び公表について確認 平成29年度の地産地消推進状況の報告

2. 地産地消推進協議会

(1) 専門部会

① 学校給食部会

開催日	会議名等	内 容	関係者
5月23日	第1回部会	地産地消の推進について 異物混入の減と食中毒未然防止について ケーブルテレビとの連携について	学校教育課 学校給食会
8月21日	第2回部会	学校給食設備の衛生管理について 意見交換	学校教育課 学校給食会 栄養教諭
11月29日	第3回部会	学校給食の現状について	学校教育課 学校給食会
1月7日	第4回部会	来年度予算について 学校給食設備の衛生管理について 意見交換	学校教育課 学校給食会 栄養教諭
2月28日	第5回部会	今年度実績について 新年度予算について	学校教育課 学校給食会